

総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立二之江小学校

校長名 大石 吉郎

名称: 総合的な学習の時間

学校の教育目標	・「考える子」(重点目標) 基礎・基本を身に付け、自ら考え、判断力・表現力に富んだ子供 ・「助け合う子」 すすんで挨拶ができ、自らを律し、他人と協調し合う心豊かな子供 ・「元気な子」 基本的な生活習慣を身に付け、心身共に健康で活力に満ちた子供
----------------	---

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 これまで学習したことを活かし、見通しをもって解決する。
- 2 自ら課題をつかみ、問題解決のために進んで努力、工夫しながら活動する。
- 3 課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考え、最後まで粘り強く取り組む。
- 4 主体的に追求活動に取り組み、学んだことをいろいろな形で表現し、伝えようとする。
- 5 自己の生き方を考える。

育てようとする資質や能力及び態度

知識・技能	
第3・4学年	第5・6学年
○家庭や地域の人々などの想いや願いに気付くことができる。 ○追求したい課題を設定し、図書資料などを活用して情報を収集し、わかりやすくまとめることができる。	○日本の文化や先人の願いについて考えることができる。 ○自分が設定した課題に対し、図書資料や情報機器を活用して情報を活用し、工夫してまとめることができる。
思考・判断・表現	
第3・4学年	第5・6学年
○追求したい課題を見つけることができる。 ○課題についての情報を、適切な方法を考えながら収集することができる。 ○収集した情報を整理・分析し、課題解決の方法を考えることができる。 ○他者と協働的に取り組み、分かったことなどを分かりやすくまとめ、工夫して表現することができる。	○追求したい課題を見つけることができる。 ○課題についての情報を、適切な方法を考えながら収集することができる。 ○収集した情報を整理・分析し、課題解決の方法を考えることができる。 ○他者と協働的に取り組み、分かったことなどを分かりやすくまとめ、工夫して表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	
第3・4学年	第5・6学年
○友達と協力して課題を解決することができる。 ○友達や地域の人々のよさを見つけることができる。 ○学習活動を通して地域の人と交流することができる。	○自分と違う意見を尊重しながら友達と協力して課題を解決することができる。 ○友達のよさを見つけたり、地域の人々の思いや生き方を感じ取ったりすることができる。 ○学習活動を通して地域の自然や社会、人にかかわり、自分たちにできることを考え、実践することができる。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	・古川や新川の歴史、川や公園を守る人々。	・地域の一員として、文化や伝統を受け継ごうとする活動や取り組み。
第4学年	・自分の体の健康や成長、生きること。	・自分の成長に関わる人への感謝、生きることの大切さ
第5学年	・日本の伝統と文化、地域に暮らす外国人の文化や価値観。	・地域の文化や伝統のもつ特徴、異文化とのかかわり。
第6学年	・先人の生き方、将来への展望。	・様々な立場の人々や生き方があることへの認識。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・3年生は地域、4年生は環境と生命、5年生は日本の文化と国際理解、オリンピック・パラリンピック教育、6年生は情報と将来とオリンピック・パラリンピック教育を主なテーマとする。 ・単元は学年で開発し、年間2～4単元程度とする。 ・オリンピック・パラリンピック教育の推進。	・教科と関連的な指導の重視。 ・言語活動を意識した表現方法の重視。 ・児童の課題意識を喚起させる提示の工夫。 ・個に応じた指導の工夫。	・通常級と特別支援学級の交流を活かした指導。 ・ゲストティーチャーによる支援。 ・地域教育力の効果的運用。 ・担任外の教職員による支援体制の樹立。	・観点別学習状況を把握するための評価規準の設定。 ・個人内評価の重視。 ・学期末、学年末における指導計画の評価の実施。